

部会審議資料の見方 及び ご意見いただきたいこと

(1) 審議資料の政策ごとの右側の部分「◆今後の方向性及び主な施策」は、以下のとおり、6つの要素で構成されています。

〔サンプル〕 第2章・政策1 地域経済を牽引する商工業が元気なまち

◆今後の方向性と主な施策

【中心市街地の活性化、新たな産業やビジネスの創出】

- 商店街、民間事業者などが連携しながら中心市街地に人が集まる仕組みをつくり、来街者の増加および居住誘導など中心市街地の活性化を支援します。
 - ・クルーズ船寄港の好機を生かした中心市街地への誘導
 - ・商店街によるイベント開催への支援
 - ・旧マリーン5清水屋跡における民間主導の再生事業の支援
- 農商工観連携も含めた多角的なビジネス支援を行う産業振興まちづくりセンター「サンロク」の機能強化を図り、新事業創出および業容拡大など総合的な産業振興を図ります。
 - ・産業振興まちづくりセンター（コワーキングスペース※5を含む）の運営
 - ・個人・企業のニーズ・シーズなどのマッチングによるプロジェクトの組成
 - ・デジタル化、商店街活動、創業、事業承継※6、販路開拓などの相談および支援
 - ・事業者コミュニティの創出
 - ・コワーキングスペースの利活用による交流機会の拡大および事業創出
 - ・女性フリーランスのITスキルアップおよび受注獲得の支援

成果指標 | サンロクによるマッチング支援件数 5年間で***件
 サンロクによる創業件数 5年間で***件
 中心市街地居住人口の増加 5年間で***人

【企業立地の促進、中小企業等の生産性向上】

- 新たな企業立地や事業拡張に対応できるよう、新たな事業用地の開発などを検討します。
 - ・立地環境が優れた工場適地など事業用地拡大の検討
 - ・オフィス需要への対応と企業立地支援
- 付加価値および賃金水準が高い業種の新規立地および事業拡張に結びつくオーダーメイド型の支援を継続し、良質な雇用を創出します。
 - ・付加価値の高い製造業や情報サービス業等の立地および事業拡張への支援
 - ・成長が見込まれるエネルギー関連産業の立地への支援
- 中小企業および小規模事業者の生産性向上および競争力強化の取り組みを支援し、地域経済への波及効果を高めます。
 - ・生産性向上のための設備投資への支援
 - ・デジタルシフト※7および人材確保への支援
 - ・小規模事業者の販路開拓など経営基盤強化への支援

成果指標 | 企業立地件数 5年間で***件
 製造品出荷額等 (R2・2020) 2,437億円 → (2027) 2,***億円

◆関連個別計画

- 酒田港湾計画（山形県） ○山形県国際戦略 ○地域産業支援基本方針

※5 コワーキングスペース：様々な業種、年齢の人々が集まり、仕事をしたり、ノウハウやアイデアなどを共有して協働したりする場所。

※6 事業承継：事業承継とは、現経営者が事業や会社そのものを後継者に引き継ぐことだ。一般的な事業承継では、主に経営、資産及び知的財産が後継者に引き継がれる。

※7 デジタルシフト：企業が現在アナログで行っている業務や商品・サービスをデジタルに移行する一連の取り組み、及び取り組みの結果として起きるビジネス上の変化を指す。

①施策のタイトル

➡【■■■■■】で表記

②今後の方向性

➡○■■■■■で表記

③主な施策

➡・■■■■■で表記

※現行計画（前期計画）との変更点は下線を引いています。

➡■■■■■■■■■■■■■■■

④成果指標

※未確定ですが参考として記載

⑤関連個別計画

※市及び県の計画等を記載

⑥注釈

※未確定ですが参考として記載

(2) 第4回部会（6月20日）までに事前に内容をご確認いただきます。当日に、特にご意見をいただきたい要素は「②今後の方向性」と「③主な施策」の部分です。

(3) 各施策の「②今後の方向性」と「③主な施策」が適切に設定されているか、漏れているものはないか、新たな設定すべきものはないかという視点で、ご意見ををお願いします。

(4) このたびの部会でのご意見を踏まえ、「②今後の方向性」と「③主な施策」などの記載内容を修正します。

(5) 次回の第5回部会（令和4年7月下旬開催予定）では、ご意見を反映した修正案（成果指標及び注釈を含む）を提示し、再度ご意見をいただき、内容を固めます。

ひとづくり・まちづくり部会〔6/20(月)10:00～〕の進め方

(1) 意見交換〔1回目〕※50分

- ・下表のとおり、3グループ（章の単位）に分かれて、審議（意見交換）を行います。
- ・市の部長等が各グループに入り、進行を担うとともに、必要に応じてコメントします。
- ・最初に、担当職員が「今後の方向性と主な施策」のうち、主な変更点について説明します。
- ・委員の皆様が「今後の方向性と主な施策」の適否（加除修正）について意見交換を行います。
- ・担当職員が意見交換の内容を板書し、要点をとりまとめます。

(2) 意見交換〔2回目〕※35分

- ・冒頭、担当職員が1回目の各グループの意見交換の要点を説明し、情報を共有します。
- ・下表のとおり、全体で意見交換（第1・4・5章の全て）を行います。
- ・阿部部会長が進行し、必要に応じて市の部長等がコメントします。

❖ひとづくり・まちづくり部会のタイムテーブル及び役割分担

経過時間	内容	委員の皆様の役割	市側（事務局）の役割
00-08	あいさつ	阿部部会長	
08-10	進め方等の説明	—	企画調整課長
10-60 ※50分	意見交換〔1回目〕 小単位（3グループ） ※右欄指定のとおり	<u>[G1] 1章</u> ①石黒由香委員（ユニサイクルケセラ） ②加藤千鶴委員（リトミックスジォ passage） ③神田直弥委員（公益大） ④富士直志委員（里仁館） <u>[G2] 4章</u> ①阿部直善委員（社会福祉協議会） ②池田祐子委員（法人保育園・認定こども園協議会園長会） ③工藤佐規子委員（株式会社オリーブ） ④佐藤初子委員（食生活改善推進協議会） <u>[G3] 5章</u> ①阿部建治委員（自治連連絡協議会） ②大井文委員（環境審議会） ③小関久恵委員（公益大） ④松本友哉委員（合同会社とびしま） ⑤御船浩弥委員（JA庄内みどり）	所管部長 進行又はコメント 各部担当 主な変更部分を説明、 発言の記録及び発表 <u>[G1] 1章</u> 総務部長、企画部長【進行】、教育次長、教育次長（教） 奥村主査【説明、記録、発表】、斎藤調整主任【説明、記録】、今田主事【説明、記録】 <u>[G2] 4章</u> デジタル変革調整監【進行】、CDO補佐官、健康福祉部長、地域医療調整監 佐藤補佐【説明、記録、発表】 <u>[G3] 5章</u> 危機管理監、地域創生部長【進行】、市民部長、農林水産部長、建設部長 阿部調整主任【説明、記録、発表】
60-70	休憩		
70-80	情報共有（グループ単位ごとに出た意見）	—	各部担当が発表 ③@3分/G
80-115 ※35分	意見交換〔2回目〕 フリー	●全体（第1・4・5章）を通して 全ての委員（13名）が対象	所管部長 適宜、コメント
115-120	事務連絡		事務局